

## 建設関係団体等からの意見聴取について

## 1 趣旨

建設工事等の受注者側である関係団体又は事業者から意見を聴取することにより、現在の入札・契約制度の課題を検証し、今後の制度の見直しに資することを目的とする。

## 2 開催日時

次回委員会（11月予定）開催時

## 3 意見聴取の方法

- 建設工事の元請側団体代表者、下請側団体代表者及び個別事業者並びに建設工事関連委託業務の関係団体代表者、それぞれから現在の入札・契約制度に対する意見を15分程度で述べてもらい、その後委員との質疑応答を20分程度行う。（間に入れ替えを行う。35分×5）
- 意見については、あらかじめ調査票（内容は委員長と事務局で調整）を送付し、事前に提出してもらうこととする。

## 4 意見聴取の対象候補

- (1) 一般社団法人福島県建設業協会
- (2) 福島県総合設備協会
- (3) 福島県建設専門工事業団体連合会
- (4) 福島県土木建築調査設計団体協議会
- (5) 建設工事の個別事業者（委員会に選考チームを設けて選定）

## 5 その他

- 各団体に対しては、会員の意見を幅広く集約した意見を頂けるよう依頼する。
- 会議は原則公開とするが、意見聴取対象者が非公開を希望する場合は、非公開で行う。
- 今後、変更等が生じた場合は、委員長が事務局と調整の上、決定する。

## 意見聴き取り調査票(H23年度版)

(社団法人福島県建設業協会・福島県総合設備協会) 共用

## 1 コンプライアンスへの取組みについて

- (1) 県では、透明性・競争性・公正性・品質の確保に十分留意した入札制度を構築するため、不正行為を行った事業者に対しては厳しい対応を行っておりますが、貴団体として、不正行為を行うものを会員から出さないために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。
- (2) 先日の贈収賄事件を受けて、貴団体として新たな取組みは必要とお考えですか。今後の取組みの予定についてお聞かせください。

## 2 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度について

- (1) 現在の最低制限価格及び低入札価格調査基準価格の設定水準は、工事規模が小さくなるほど高くなるようにしていますが、このことについてどのようにお考えですか。
- (2) 県の低入札価格調査制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 3 総合評価方式について

- (1) 県では、元請・下請関係の適正化に向けた対策の一つとして、今後とも施工体制事前提出方式を活用していく考えですが、このことについてどのようにお考えですか。
- (2) 県の総合評価方式の特別簡易型の評価項目について、価格と価格以外の評価バランスを改善し、点数が固定化しやすい項目を組み替えるなどの評価基準の変更を行いました。このことについてどのようにお考えですか。
- (3) 県の総合評価方式について、その他御意見等があればお聞かせください。

## 4 元請・下請関係の適正化対策について

- (1) 元請・下請関係の適正化に向けた取組みは個々の企業が行うだけではなく、団体としてのコンセンサスも必要ではないかとの意見がありますが、貴団体として、元請・下請関係の適正化のために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。
- (2) 下請側からは、下請金額について元請が常識的な金額を提示してくれないという意見がでておりますが、このことについてどのようにお考えですか。

## 5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 意見聴き取り調査票(H23年度版)

(福島県建設専門工事業団体協議会)

### 1 コンプライアンスへの取組みについて

- (1) 県では、透明性・競争性・公正性・品質の確保に十分留意した入札制度を構築するため、不正行為を行った事業者に対しては厳しい対応を行っておりますが、貴団体として、不正行為を行うものを会員から出さないために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。
- (2) 先日の贈収賄事件を受けて、貴団体として新たな取組みは必要とお考えですか。今後の取組みの予定についてお聞かせください。

### 2 元請・下請関係の適正化対策について

- (1) 県では、元請・下請関係の適正化に向けた取組みを強化するため、今年度から下請状況実態調査を行うこととしておりますが、この調査についての御意見をお聞かせください。
- (2) 貴団体として、元請・下請関係の適正化のために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。また、発注者である県や元請については、それぞれどのような取組みが必要だとお考えですか。

### 3 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 意見聴き取り調査票(H23年度版)

(福島県土木建築調査設計団体協議会)

### 1 コンプライアンスへの取組みについて

- (1) 県では、透明性・競争性・公正性・品質の確保に十分留意した入札制度を構築するため、不正行為を行った事業者に対しては厳しい対応を行っておりますが、貴団体として、不正行為を行うものを会員から出さないために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。
- (2) 先日の贈収賄事件を受けて、貴団体として新たな取組みは必要とお考えですか。今後の取組みの予定についてお聞かせください。

### 2 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度について

- (1) 委託業務の最低制限価格については、設定水準を引き上げてほしいとの要望がありますが、今年度上半期の平均落札率は91.31%と90%を超える水準となっておりますが、このことについてはどのようにお考えですか。
- (2) 県の低入札価格調査制度について、御意見等があればお聞かせください。

### 3 業務成績の活用について

- (1) 県では、今後業務委託の業務成績について様々な場面で活用していくことを検討しており、今年度11月から総合評価方式における評価項目に追加しましたが、このことについてどのようにお考えですか。
- (2) また、入札制度における業務成績評定の活用について、御意見があればお聞かせください。

### 4 条件付一般競争入札(価格競争・総合評価方式)について

- (1) 県では、条件付一般競争入札で発注する場合は入札参加条件を、さらに総合評価方式で行う場合は評価基準を設定しておりますが、それぞれの入札参加条件や評価基準の設定について、御意見等をお聞かせください。
- (2) その他、県の条件付一般競争入札(価格競争・総合評価方式)について、御意見等があればお聞かせください。

### 5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 意見聴き取り調査票(H23年度版)

(個別事業者)

### 1 貴社の受注状況について

- (1) 公共工事と民間工事とで貴社の受注割合はどのくらいですか。
- (2) 県発注工事と市町村発注工事とで貴社の受注割合はどのくらいですか。
- (3) 元請としての受注と下請としての受注とで貴社の受注割合はどのくらいですか。
- (4) 県の条件付一般競争入札の導入や総合評価方式の導入の影響については、どのようにお考えですか。

### 2 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度について

- (1) 現在の最低制限価格及び低入札価格調査基準価格の設定水準は、工事規模が小さくなるほど高くなるようにしていますが、このことについてどのようにお考えですか。

### 3 総合評価方式について

- (1) 県の総合評価方式において、どのような項目を評価すべきとお考えですか。
- (2) その他、県の総合評価方式について、御意見等があればお書きください。

### 4 電子入札・電子閲覧について

- (1) 県では、電子入札及び電子閲覧を導入し、徐々に対象件数を増やして実施してきておりますが、このことについてどのようにお考えですか。
- (2) 県の電子入札に何回くらい参加されましたか(参加されていない場合は、その理由もお聞かせください)。

### 5 元請・下請関係の適正化対策について

- (1) 元請・下請関係の適正化のために、これまでどのようなことに取り組んできましたか。取組みの実例をお聞かせください。また、発注者である県や元請、下請については、それぞれどのような取組みが必要だとお考えですか。
- (2) これまで元請として工事を請負い、下請を活用した際に、やむを得ずに下請にしわ寄せをしたという事例はありますか。または、下請として工事を施工した際に、元請からしわ寄せをされたということはあるですか。差し支えない範囲でお聞かせください。

### 6 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。